

エレクトロニクス部会ニュース

Vol. 8, No. 11 (通巻No. 51) 2017年2月16日

部会ニュースNo. 51をお届けします。内容は、平成28年度第6回幹事会の議事概要です。幹事会講演会では、産総研安積博士より高分子アクチュエータに関するお話をいただきました。

■ 第 6 回幹事会議事概要

平成 29 年 (2017 年) 度第 6 回幹事会

日時：平成 29 年 2 月 10 日(金) 14:00-17:00

場所：住友パークライト(株) 本社 会議室

出席者：近藤部会長、横沢副部会長、嘉田幹事、鳥成幹事、林幹事、所幹事、武野幹事、中村幹事、吉野幹事、及川幹事 の 10 名

1. 前回議事録の承認

承認されました。

2. 会計報告

平成 28 年 (2016 年) 度 12～1 月度の会計報告があり、承認されました。詳細は、資料-1 をご参照ください。

3. 会員異動、幹事名簿確認

- ・近藤部会長は、3 月末で第 1 期 2 年の任期が満了します。議論の結果、4 月以降も引き続き近藤部会長に部会長を依頼する (2 期目) ことになりました。また副部会長の交代についても議論が行われました。人事案は 3 月末までに化学工学会に承諾を受けた上で、正式に発効されます。
- ・折田幹事、林幹事より幹事の退任と退会の申し入れがあり、承認されました。また、石井監事の監事退任申し入れ (幹事は継続) についても、承認されました。退任する各幹事・監事の後任や役務の引き継ぎについては、幹事会でリストアップした候補者に打診し、承諾を得た上で決定します。

4. 化学工学年鑑 2017 執筆について

エレクトロニクス・実装プロセス工学分野のとりまとめ大野幹事に依頼し、記事の執筆は前年同様に斎藤幹事、薦田幹事、羽深幹事に依頼することになりました。

5. 産学バランスを考慮した幹事増強と、女性幹事比率増員について

化学工学会理事会より、各種委員会における女性比率の増大について指示があり、当部会では産学のバランスを意識した幹事の増強と合わせて検討を行うこととなりました。幹事会では、本件を重要な課題と認識し、小チームを組んで継続的に議論を行うこととしました。

6. 部会活動活性化について

武野幹事より提案のあった「エレクトロニクス材料開発のためのプラットフォーム創設のための海外機関視察」について議論が行われました。今後ワーキンググループを立ち上げて、得られた成果を産業の発展にどのように結びつけるか、そのために視察を行うことが本当に妥当か、など、議論を深化します。

7. 29年度（2017年度）部会シンポジウムについて

次年度のエレクトロニクス部会シンポジウムについて議論が行われました。次回のシンポジウムは高密度実装基板をテーマとし、微細配線や次世代の基板材料等についての講演を中心に構成することになりました。開催時期は例年通り 7-9 月とし、次回幹事会までに、候補となる講演者やテーマを各幹事よりリストアップして、詳細を決定します。

8. 次回幹事会予定

平成 29 年（2017 年）4 月 13 日（木）14:00 から、住友ベークライト(株)本社会議室にて開催されます。

■ 幹事会講演会

産業技術総合研究所安積欣志博士（無機機能材料研究部門）より、「イオン導電性高分子アクチュエータの研究開発」について講演がありました。

◇ 講演内容

高分子アクチュエータは、セラミック材料を使用した既存のアクチュエータと比較して軽量で柔軟であり、また低電圧で駆動でき、変位量が大きい、という特徴がある。講演では、電圧により水分子が電解質とともに高分子内を移動し、その膨潤圧の変化を駆動力とするイオン導電性高分子アクチュエータと、カーボンナノチューブを電極とし、イオン液体におけるアニオンとカチオンサイズの違いを駆動力とするカーボンナノチューブアクチュエータの紹介があった。博士らの研究グループでは、これらの高分子アクチュエータを使用した点字デバイスや、医療用カテーテルの駆動機構としての応用を目指して開発を進めている。現在の課題は発生力が低い点であり、現在発生力の向上を目指した開発を進めている。

以上。

■資料-1 平成28年12月-平成29年1月度会計報告

1. 前回残高 (平成28年11月末)

口座残高	<u>1,843,831</u> 円 ①
積立金	<u>2,200,000</u> 円
実質残高	<u>△ 356,169</u> 円

2. 今回収入と支出

項目	日時	内容	金額 (円)
収入	2016/12/19-28	個人年会費前受 (@5K×5名)	25,000
	2016/12/22-28	法人年会費前受 (@50K×2社)	100,000
	2016/12/22	12/22第5回幹事会 交流会費 (@3K×8名)	24,000
	2017/1/27-31	個人年会費前受 (@5K×4名)	20,000
	2017/1/6-31	法人年会費前受 (@50K×6社)	300,000
収入計			469,000 ②
支出	2016/12/22	12/22 第5回幹事会 飲料費	3,750
	2016/12/22	12/22 第5回幹事会 諸謝金	62,060
	2016/12/22	12/22 第5回幹事会 技術交流会代金	41,580
	2016/12/26	12月度源泉徴収税	7,056
	2016/12/26	12/22 第5回幹事会 旅費・振込手数料 (2名)	33,248
	2017/1/4	12/22 第5回幹事会 旅費・振込手数料 (1名)	30,156
支出計			177,850 ③
月次収支			291,150 ②-③
全体収支 ①+②-③			2,134,981 ④

3. 残高 (平成29年1月末)

口座残高	<u>2,134,981</u> 円 ⑤
積立金	<u>2,200,000</u> 円
実質残高	<u>△ 65,019</u> 円

備考

シンポジウム開催費用として、9月に積立金から60万円適用済

④の全体収支と、⑤の口座残高 (平成29年1月末現在) が一致していることが確認された。